

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における
全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達について

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム（Jアラート）による情報伝達について

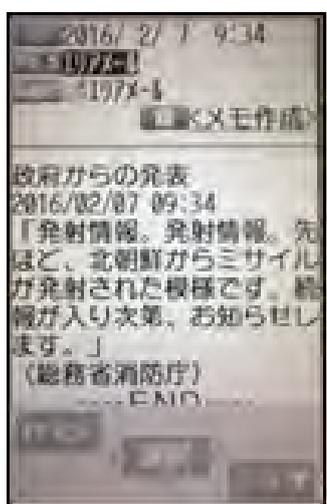
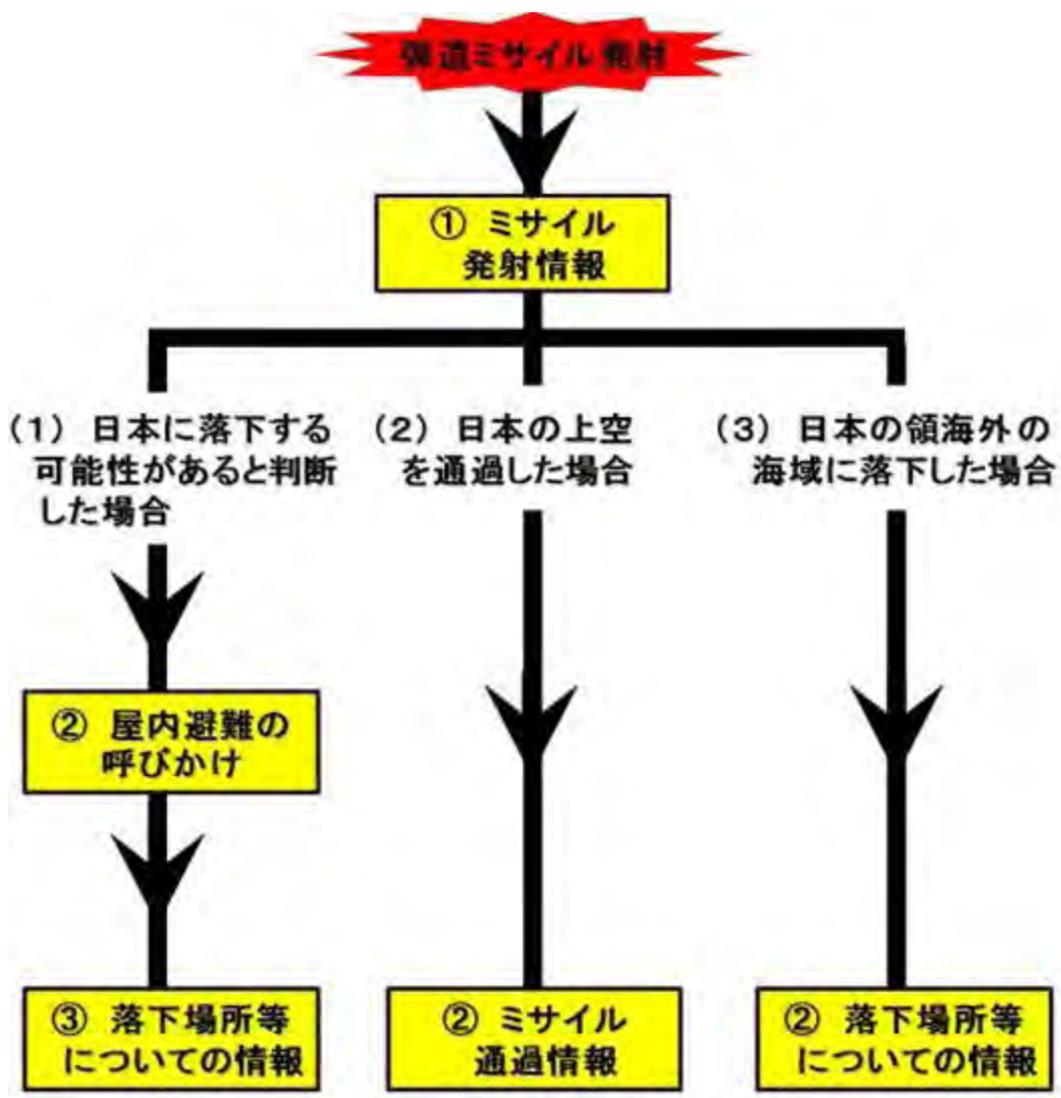
北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、政府としても、事前にお知らせすることなく、Jアラートを使用することになります。

Jアラートを使用すると、中之条町の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます（※3）。なお、Jアラートによる情報伝達は、国民保護に係る警報のサイレン音を使用し、弾道ミサイルに注意が必要な地域の方に幅広く行います。

・Jアラートによる情報伝達では、弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断した場合に、まず、弾道ミサイルが発射された旨の情報（①）を伝達します。**弾道ミサイルがどこに落下するか等については、続報で伝達しますので、この時点では落ち着いて続報に備えて下さい。**

・その後、**弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合に、続報として屋内避難の呼びかけ（(1)②）を行います。屋内避難の呼びかけを受けた場合には、直ちに近くの建物等（できれば頑丈な建物や地下街等）に避難してください。**

・このほか、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合（(1)③）や、日本の上空を通過した場合（(2)②）、日本まで飛来せず、領海外の海域に落下した場合（(3)②）には、その旨を続報としてお知らせします。



→(※3)エリアメール

(1) 日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合

弾道ミサイル発射

① ミサイル発射情報

「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。」

※ まず、上記の発射情報を伝達します。続報を伝達しますので、落ち着いて続報に備えて下さい。

② 屋内避難の呼びかけ

「直ちに避難。直ちに避難。屋内に避難して下さい。ミサイルの一部が落下する可能性があります。屋内に避難して下さい。」

※ ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合、上記の屋内避難の呼びかけを行います。
屋外にいる場合には、直ちに近くの建物等(できれば頑丈な建物や地下街等)に避難して下さい。

③ 落下場所等についての情報（日本の領土・領海に落下）

「ミサイル落下情報。ミサイル落下情報。ミサイルの一部が●●地方に落下した可能性があります。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

※ ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合は、その情報を伝達します。

不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。

(2) 日本の領土・領海の上空を通過した場合

弾道ミサイル発射

① ミサイル発射情報

「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。」

※ まず、上記の発射情報を伝達します。続報を伝達しますので、落ち着いて続報に備えて下さい。

② ミサイル通過情報

「ミサイル通過情報。ミサイル通過情報。先程、この地域の上空をミサイルが通過した模様です。」

※ ミサイルが日本の上空を通過したことが確認された場合は、その情報を伝達します。

(3) 日本の領海外の海域に落下した場合

弾道ミサイル発射

① ミサイル発射情報

「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。先程、北朝鮮からミサイルが発射された模様です。続報が入り次第お知らせします。」

※ まず、上記の発射情報を伝達します。続報を伝達しますので、落ち着いて続報に備えて下さい。

② 落下場所等についての情報（日本の領海外の海域に落下）

「先程のミサイルの続報をお知らせします。先程のミサイルは、●●海に落下した模様です。」

※ ミサイルが日本まで飛来せず、領海外の海域に落下したと推定される場合は、上記の情報を伝達します。

(注1) 状況に応じて送信するため、上記のメッセージを全て送信するとは限りません。

(注2) 上記のメッセージは、状況に応じ、変更する可能性があります。

(注3) 自衛隊によるミサイルの迎撃の状況等により情報伝達の流れが変わる可能性があります。

弾道ミサイルが発射されたとの情報が伝達された場合は、落ち着いて続報に備えて下さい。

弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断した場合には、「屋内避難」を呼びかけます。屋外にいる場合には、直ちに近くの建物等(できれば頑丈な建物や地下街等)に避難してください。